

認定申請課題レポート評価項目・評価基準

【目的】

重症心身障害看護師は重症心身障害児者及び家族に対し、熟練した看護技術及び知識を用いて専門性・個別性の高い看護実践を自ら提供し、その技術を日々の実践を通して看護・療育スタッフへ指導する教育的立場を担うものとする。また、重症心身障害児者を取り巻く現状の理解と課題解決能力も必要とされている。申請者個人の職務や職場についての問題意識や自らの果たす役割理解を検証する。

【倫理的配慮】

重症心身障害児者の看護の質に関わるものであり、特に利用者への倫理的配慮を踏まえたレポートであること

【評価項目】

- ① 問題意識
 - ・ 重症心身障害看護分野において指導的役割を果たすリーダーとしての問題意識があるか
 - ・ 質の高い看護を提供しようとする姿勢が表れているか
- ② 理解力
 - ・ 課題の意義・背景を理解しているか
 - ・ 担当職務において取り組むべき課題や自らの果たす役割を理解しているか
 - ・ 自己の職場が直面する状況を踏まえた上で問題点が具体的に示されているか
 - ・ 職務に即した具体的かつ実現性の高い解決策を論述しているか
- ③ 表現力
 - ・ 主張は的確、簡潔、明瞭に述べられているか
 - ・ 「主語と述語」にねじれはないか
- ④ 論理性
 - ・ 課題とその解決策が論理的に対応している
- ⑤ 形式・構成
 - ・ 誤字脱字はないか
 - ・ 引用の仕方は適切か
 - ・ 序論本論結論、起承転結など、わかりやすい文章構成となっているか

【評価基準】

- ・ 1つのレポートを審査員2名で審査する。
- ・ 規定に沿って記述されていれば10点を付与するが、規定に沿っていない場合は減点とする。
- ・ 評価項目ごとに4段階（8点～2点）で評価し、審査員2名の合計点が2題で120点以上を合格とする。

8点：非常に良い	6点：良い
4点：やや悪い	2点：悪い
- ・ 審査員2名の合計点数の差が20点以上の場合は審議する。